

あゆみ

ayumi



ごあいさつ

新年度がスタートします。昨年度はコロナ対策に明け暮れた1年間でした。幸いご利用者のみなさまには1名も陽性患者は出ず、何とか水際で食い止めることが出来ました。まもなくワクチン接種も始まります。昨年度できなかった行事も、今年度後半には少しずつ形に出来たらという思いです。

昨年度は医療体制の充実を年間目標の一つに掲げていました。残念ながら病院とダブルワークになる夜勤看護師の配置はコロナ禍の中で見送りましたが、相談課・医務課のフロア配置によって、よりきめの細かいサービスに一步近づけたかと思えます。

また今年度は新卒の新入職員が12名入社します。ここ数年の中では一番多い数字ですし、徳心会全体でも32名という採用になり、十分誇っていい数字だと思います。もちろん入れるだけではなく、これからの社内教育が大きな課題ですが、将来柱になってくれる人材に育てたいと思います。

徳心会として4番目の拠点となるこぶしえんが目黒区に4月1日にオープンしました。今まで以上に法人としての体制を強化し、職員研修も一層の充実を図ってまいります。これからもご指導・ご支援よろしくお願いいたします。

園長 笛木昭宏

法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」

あゆみ保育園だより



昨年度より定員 40 名の保育園になり賑やかな声があゆみえんに響き渡っています。

幼児3学年が始動する本年度は、子育ての専門的施設として保育所保育指針を遵守しながら、「子ども一人ひとりの能力を充分に開発し、真の意味で成長・発達することができる教育」を基本方針とした教育活動を取り入れていく予定です。そのために目の前にいる子どもたちにしっかりと目を向け、理念の実現のために職員がより具体的なビジョンを持ち、同じ方向に向かって保育し、より質の高い保育を目指し取り組んでいきます。

今年度も保育園職員一同一丸となって保育の充実に努めてまいります。

あゆみ保育園 園長 濱中美穂



デイサービスセンター

あゆみえんです!



--- 新型コロナウイルス感染予防のため、昨年度は誰もが我慢を強いられる1年となりました。デイサービスも例外ではなく、今までご紹介してきたよう

な季節のお花見や買い物といった機能訓練外出は全て中止となってしまいました。

普段あまり外出できないご利用者にとっては楽しみにされていた方も多く、職員も心苦しく思っておりましたが、「今できることは何だろう」とみんなで頭を切り替え、外出に代わるイベントに工夫を凝らして知恵を絞りました。

夏には職員が法被を着て夏祭り、スポーツの日にはみんなで運動会。生け花の日は季節の花を生け、書道では「初詣」や「新緑」など時期に合った文字を選びました。感染症予防対策を備えながら、外に出られなくとも季節を感じられるよう工夫を凝らしたり、送迎時の車内でもせめて車窓から見られるようにと桜並木やいちよう並木をルートに選んで走りました。

さて、今年も桜が咲き始めて参りました。あゆみえんデイサービスセンターではみなさまの笑顔のために今年度もパワー全開で走ります!

介護1課 金子知雄



認知症でお悩みの方の相談が増えています。

包括支援センターでの相談内容に「物忘れ」「自宅に閉じこもり外出しない」「どろぼうが盗んでいく」「買い物、調理、ゴミ出しなどの家事ができなくなった」「お風呂にずっと入っていない」などがあります。これらは認知症を疑う症状だったりすることがあります。



ご本人ができなくなったことをわかってはいるが、どうしてよいか判断できなくなっている



ご本人ができていないことがあるのにわかっておらず、周囲の家族が対応に困っている

もし、例えのような症状があってどうすればよいかわからないという場合には、近所の包括支援センターに相談してみるのも良いのではないのでしょうか?



オレンジリング

各自治体では、「認知症サポーター養成講座」を定期的開催しています。講座では認知症の方とどのように接していけば話をうまく伝えられるか、というようなコツも紹介しています。興味のある方は市役所や最寄りの包括支援センターへぜひお問い合わせください。

※受講者には受講証に代えて、写真のような「オレンジリング」を差し上げます!

地域包括課 出口京子

ショートステイ



前年度は制限が多い生活が続きました。4月からは「心機一転」といきたい所ではありますがコロナウイルスの脅威は去った訳ではありません。花見や羽村のチューリップ鑑賞などご利用者に楽しんでいただくイベントを考えておりますが、このご時世いつまた流行に転じるか分からない状況であります。そのため園内でも楽しんでいただけるよう、小さな事から進めていきたいと考えています。

ユニット内では季節に合わせた装飾をちりばめ、レクリエーションの拡充を行い泊まって楽しいショートステイを目指します。日常的にお花をユニットに飾り室内にいても明るい気持ちで過ごして頂けるような雰囲気づくりを行い、やすらげる場所を提供出来ればと考えております。また、現在中止させて頂いている調理レクリエーションも状況次第ではありますが実施に向けて準備しております。

介護2課 係長 原純一



124年ぶりの2月2日節分

今年は124年ぶりの2月3日ではなく、2月2日の節分でした。

新型コロナウイルス感染予防の観点から施設全体で豆まきを行うのではなく、各ユニットで普段過ごしているご利用者同士で鬼に扮した職員へ思い思いの気持ちで「鬼は外、福は内」と豆を投げられていました。心の中では悪霊退散のように「コロナ退散!」と叫ばれていたかもしれません。

来年こそ、職員もマスクが外れ、ご利用者と一緒に笑顔溢れる節分を迎えられればと切に願うばかりです。

介護3課 佐々木雄一



青梅紹介

「青梅市」の名前の由来

みなさまは「青梅市」の名前の由来を知っていますでしょうか？植物の梅がかかわっているのは、想像がつくかと思いますが、実はある歴史上有名な人物がかかわっているのです。それは平将門なのです。

931年～938年に青梅市に平将門が訪れました。その際に使っていた馬の鞭として使用していた梅の枝を植えました。そこで「願いが叶うのなら栄え、叶わないのなら枯れよ」という願掛けをしました。植えられた梅の枝は見事に根付きましたが、梅の実は熟さず青いままだったそうです。それが由来となり「青梅」という名前になったそうです。

平将門の乱が始まり、常磐国を支配し関東全域までの支配を決意しましたが、志半ば、平貞盛に討たれて失敗に終わりました。

梅はそんな未来を予測していたのかもしれませんがね。※名前の由来は諸説あります。 総務課 奥山智晃



□ あゆみえんインフォメーション □

詳しいお問い合わせは、あゆみえん、相談課まで
電話 0428-30-5550

あゆみ VOL.99

発行 社会福祉法人 徳心会
特別養護老人ホーム あゆみえん 広報委員会
〒198-0024 青梅市新町9丁目2153番地3
TEL.0428-30-5550 FAX.0428-30-5570
発行人 園長 笹木昭宏
編集人 広報委員長 諸江光宣
発行日 令和3年 4月15日
E-mail ayumien@tokushinkai.jp
H P https://tokushinkai.jp/



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。

暖かくなり、コートのいらない季節になりました。
昨年は花見もままならぬまま春が過ぎ、夏となりましたが、今年はどうなるのでしょうか。
私は今年こそ、梅雨頃に青梅から出る、鎌倉あじさい号への乗車したい!...と思っていたのですが、新型コロナウイルスの状況がどうなるか。落ち着いていることを願うばかりです。

皆様が鎌倉あじさい号へ乗車された際にはお話を聞かせてください。



介護4課 久保田萌奈